

商工会連合会報

第509号

平成28年3月1日

(昭和45年12月3日第3種郵便物認可)

○発行所 秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号 秋田県商工会館内 電話018-863-8491(代)

○購読料・1部10円(会費に含む) / 各奇数月1日発行

商工会活動強化アクションプログラム 策定委員会が発足



目次

- 2・商工会活動強化アクションプログラム
秋田県RCP策定支援に関する協定締結式
- 3・グルメ&ダイニングスタイルショー
商工会女性部員セミナー
- 4・湯沢市「ふるさと企業振興基本条例」制定
平成28年度 税制改正のポイント
各種補助金のご案内
- 5・「知ってる？」
共済ご加入者喜びの声
- 6・県内商工会の活動
- 7・商工会「新会員紹介」
- 8・おらほのまちな人

秋田の偉人たち

vol.40

町田 忠治

出身・秋田市
(一八六三年―一九四六年)



画像提供
秋田県立博物館

東洋経済新報社の創立者

青年時代から論客として知られ、犬養毅・大隈重信の知遇を得る。東洋経済新報社を創立し、経済雑誌に新生面を開拓。関西財界で活躍した後、政界に入り、農林大臣・商工大臣などを歴任、民生党総裁となる。

商工会活動強化アクションプログラム

策定委員会が発足！ ～新たな商工会づくりに向け第一歩～

1月18日、第1回商工会活動強化アクションプログラム策定委員会が開催されました。

本委員会は、木村県連副会長や猿橋県産業政策課長など9名を委員とし、今後10年先を見据えた5年間の商工会活動強化アクションプログラムを策定することとしております。

会議では、以下の策定方針を定めたほか、プログラム案の策定に向けて、商工会の組織・事業のあり方などについて、活発な意見交換が行われました。

策定方針

以下の認識の下、将来を見据えて事業者が持続的に発展し、経済および地域全体の好循環を生み出せるよう、商工会が立ち向かうべきビジョン・戦略・手段を「商工会活動強化アクションプログラム」として策定する。

- I. 事業者数の減少や地域衰退への強い危機意識
- II. 商工会の使命・これから向かうべき進路の明確化
- III. 追い風となる国・県・市町村の政策に対応した取組の強化
- IV. 将来に向けたビジネス環境への的確な対応
- V. 期待に応えられる商工会への変革

【委員名簿】

委員役職	氏名	役職
1 委員長	木村 友勝	県連合会副会長
2 副委員長	佐藤 作内	にかほ市商工会長
3 学識委員	猿橋 進	秋田県産業政策課長
4 委員	菊池 豊	二ツ井町商工会長
5 //	上坂 憲一郎	ゆざわ小町商工会長
6 //	藤本 忠	北秋田市商工会長
7 //	諸橋 磯光	潟上市商工会長
8 //	齊藤 伸英	美郷町商工会長
9 //	松浦 春男	県連合会専務理事



第1回アクションプログラム策定委員会 開会あいさつ
(左から：木村委員長、佐藤副委員長)

BCP策定支援

県・商工団体・損保会社の5者でBCP支援協定を締結

1月28日、企業が策定する「事業継続計画」(BCP=Business Continuity Planning)について、官民が連携し県内中小企業向けに策定支援を強化しようとする5者間で協定締結を行いました。

BCPは、企業が災害やテロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合、損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続や早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時に事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。

緊急事態は突然発生するため、準備を怠ると、特に中小企業や小規模事業者ほど廃業や事業縮小に追い込まれるおそれがあり、地域住民への生活物資の供給や雇用を支える社会的使命からもBCP策定は重要といえます。

平常時からのBCPを周到に準備するため、商工会では、協定締結した各機関と連携を強め、セミナーや個別相談を通じながら、個々の計画策

定の支援を行うほか、商工会が取り扱う各種共済制度の提案をさせていただきます。

BCPに関してはお近くの商工会まで相談ください。



右から、
松浦春男 商工会連合会専務理事
財部 剛 東京海上日動火災保険(株)常務
中島英史 副知事
三浦廣巳 会議所連会長
藤澤正義 中小企業団体中央会会長

(参考)内閣府・防災情報のページ
<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/sk.html>

グルメ&ダイニングスタイルショー 2016春

販路拡大を目指し3社がチャレンジ

2月3日～5日の3日間、東京ビッグサイトにて全国商工会連合会主催の商談会「グルメ&ダイニングスタイルショー」が開催されました。

本県からは今年度の「むらおこし特産品コンテスト」で中小企業庁長官賞を受賞した木製品製造業の木肌のぬくもり社（白神八峰商工会）、昨年度に続き2年連続で全国商工会連合会会長賞を受賞した食品製造販売業の(株)鈴木水産（白神八峰商工会）、そして地域の特産品であるじゅんさいを活用した商品開発に取り組みピットイン井・井（三種町商工会）の3社が出展しました。



木肌のぬくもり社（白神八峰）
出展商品：常夜灯、透かし彫り扇子ほか木製品



株鈴木水産（白神八峰）
出展商品：ハタハタキャビアほか、水産加工品



ピットイン井・井（三種町）
出展商品：秋田みたねうどん、みたね巻等

出展者からは「専門家派遣にてブースづくりやチラシ作成の助言を得ながら、自社のセールスポイントを整理し、事前準備よく商談会に臨むことができた」、「他社の商品を見て刺激になった。全国規模で直接ビジネスチャンスを得られる機会はありがたい」といった声が聞かれ、商談成立以外にも大きな収穫を得られたことがうかがえます。

期間中の商談件数はのべ111件、うち現時点での成約数が3件、販路拡大への足がかりとして今後の展開が期待されます。

商工会女性部員セミナー

（商工会女性部の日）を開催



県女性連伊藤会長あいさつ

2月4日、県連合会と県女性連主催による「女性部員セミナー（商工会女性部の日）」がホテルメトロポリタン秋田会場に開催されました。

セミナーには全県から約80名の女性部員が出席し、第1部では平成29年度に本県で開催される「ねんりんピック2017」の趣旨や大会概要等について県ねんりんピック推進室の担当者から説明を受け、秋田県内外からお越しになるお客様をどのように「おもてなし」し、地域の魅力を発信するかを考えるきっかけとすることができました。

続いて第2部では、(株)ハッピーコンセプト 代表取締役 片桐由紀子氏をお迎えし「お客様から学ぶおもてなし」と題して御講演を頂き、「おもてなし」とは裏表のない「心」で接すること、見返りを求めないこと、人を

参加者からは、「もう一度、お客様の目線で物事を考えてみようと思う」、「自分がお客様だったらという意識を持つて接客したい」など、前向きな感想が多く寄せられました。

商工会女性部は、今回学んだことを自社経営や女性部活動に活かし、今後も「おもてなし」でお客様や地域の方々にハッピーをお届けする活動を続けて参ります。



女性部おもてなし隊が熱心に聴講

県内初の小規模企業振興条例

「湯沢市ふるさと企業振興基本条例」制定へ

平成26年6月に公布された小規模企業振興基本法では、「地方公共団体においても小規模企業振興に関する施策を策定・実施する責務」が明記されたところであり、商工会では、各市町村に対して小規模企業振興基本法制定の主旨を踏まえ、小規模企業の振興を図る条例の制定を要望してまいりました。

平成27年12月、湯沢市において、小規模企業振興基本法制定後、県内では初となる小規模企業振興条例「湯沢市ふるさと企業振興基本条例」が承認されました。(平成28年4月1日施行)

当条例は、ゆざわ小町商工会をはじめとした関係者の働きかけにより、制定が実現したもので、中小企業振興についての基本理念や関係者の役割、施策の基本方針を定めています。

今後、ゆざわ小町商工会ではこの条例に基づき、小規模事業者の持続的な発展に向けてきめ細かな支援に努めていくこととしております。

平成28年度 税制改正のポイント

平成28年度の税制改正において、中小・小規模事業者に関連する主な内容は次のとおりです。

- **法人実効税率の引き下げ**
平成28年度に法人実効税率(現行32.11%)が引き下げられ、**29.97%**となります。また、平成30年度には、さらに引き下げられ、**29.74%**となります。
 - **機械・装置の固定資産税の減税措置の創設**
中小企業が取得する一定の条件を満たす新規の機械装置の固定資産税が、**3年間、2分の1に軽減**されます。
 - **少額償却資産の特例の延長(2年間)**
中小企業が取得した30万円未満の減価償却資産について、合計額300万円まで全額損金算入(即時償却)を認める制度が**2年間延長**されます。
 - **交際費の損金算入特例の延長(2年間)**
中小法人が交際費を支出した場合、800万円まで損金算入できる措置について、**2年間延長**されます。
 - **減価償却方法の見直し**
今後、新規に取得する**建物付属設備、構築物**の償却方法が「**定額法**」に一本化されます。
 - **新築住宅の固定資産税の減税措置の延長(2年間)**
 - **車体課税の見直し**
グリーン化特例(自動車税・軽自動車税)が**1年間延長**されます。
- 詳しくは、経済産業省HPをご覧ください。 <http://www.meti.go.jp/>

各種補助金のご案内

国・県では、小規模事業者や中小企業の事業計画にもとづいて発生する経費に対し、様々な支援を行っています。販路拡大、新たなサービス展開等をお考えの際は、ぜひご活用ください。
※商工会では、補助事業の実施に伴う自己資金や事業終了までのつなぎ資金として、『マル経融資制度』をご用意しております。各種補助金の問い合わせと併せ、お気軽にご相談ください。

国の補助金事業

県の補助金事業

小規模事業者持続化補助金	ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金	がんばる中小企業応援事業
概要	概要	概要
小規模事業者が商工会と一体となって販路拡大に取り組む費用を支援します。 経営計画策定と1年以内に販路拡大につながることを条件に「チラシ作成、店舗改装、パッケージ改良」など幅広く補助対象としています。	革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等に要する経費を補助します。	新規性の高い事業 [※] に取り組もうとする企業を「がんばる中小企業」に認定し、事業計画に基づく取り組みに要する経費を補助します。 ※① 新商品・新サービスの開発・生産・販売 ② 新分野進出 ③ 新たな生産方法の導入
公募期間	公募期間	公募期間
5月13日(金)まで ※公募回数は1回	4月13日(水)まで ※公募回数は1回	4、9月の年2回を予定
補助対象期間	補助対象期間	補助対象期間
交付決定日(7月初旬)～12月31日(土)	交付決定日～12月31日(土) ※小規模型は11月30日(水)	交付決定日より1年間
補助内容	補助内容	補助内容
補助率2/3以内、補助上限50万円 ただし、下記に該当する取り組みは増額(補助上限100万円)となります。 ① 雇用増加 ② 買い物弱者対策 ③ 海外展開◀ 新規 ▶ (海外で行われる展示会・商談会へ参加を行う場合のみ) ④ 共同申請 (50(100)万円×事業者数(上限500万円))	① 一般型 補助率2/3以内、補助上限1,000万円、設備投資が必要 ② 小規模型 補助率2/3以内、補助上限500万円、設備投資可能(必須ではありません) ③ 高度生産性向上型 補助率2/3以内、補助上限3,000万円、設備投資が必要 (補助対象要件等は公募要領をご覧ください。)	① 中小企業 補助率1/3以内 補助上限500万円(製造業1,000万円) ② 小規模事業者 補助率1/2以内 補助上限500万円(製造業1,000万円)
※今回の公募から、海外展開に係る取り組み100万円口となりました。	※今回の公募から設備投資を必要としない小規模型が新設されました。審査項目では、海外展開や経営革新計画認定、小規模事業者の実施する取り組みが加点対象となります。	※昨年度は41社が採択(申請は59社)となっております。

詳しくは… 秋田県商工会連合会ホームページ⇒<http://www.skr-akita.or.jp/>

詳しくは… 秋田県中小企業団体中央会ホームページ⇒<http://www.chuokai-akita.or.jp/>

詳しくは… 秋田県公式Webサイト⇒<http://www.pref.akita.lg.jp/>



「秋田=おもてなし県」をアピールする

中小企業診断士・一級販売士
(秋田県商工会連合会 囁託専門指導員)

後閑 和子氏 寄稿

先回は、秋田といえば、「おもてなし県」といわれるようにしませんか、ということをご提案いたしました。今回はこれを具体的に実践しませんか、ということをご提案します。勿論、広告をかけて大々的に行うことも「あり」ですが、でも、もっとよい方法があります。まずは訪日客を呼び込む。そのことで、秋田への興味・関心を日本国中へ波及させる、というステップです。大事なことは秋田のことを訪日する前に知ってもらうこと。そのためには、交流サイトを活用して、ぐいぐいと訪日客への心へ発信しましょう。

訪日客の中でも中国人旅行者の来日が増えているのはご存じの通りです。皆様の中には、秋田県は遠いし、関係ないと思っらっしゃるのではないのでしょうか。実は、中国人旅行者の来日目的が変化しています。多くのものを爆買する従来型の「モノ」志向から、田園風景を見たいとか、温泉にゆっくりつかりたい、などの体験を重視した「コト」志向へ変化しています。「モノ」志向から「コト」志向への変化は、実は中国人のリピーターの増加や個人客の増加などが要因なのです。最初は日本の商品・製品は信用できて魅力的ということで、爆買いに走ったと思いますが、何度も来日する方には、「本当のありのままの日本を知りたい」「温泉につかり心を癒したい」等様々に思う人が多いとのこと。その結果、訪問地も多様化しているのです。先月仕事で熊本県に行った時、訪日客が増えているとホテルの方が言っておりました。

そこで、「おもてなし県」である秋田の登場です。田園風景のすばらしさは全国の中でも指折りです。心まで温

まる温泉も多い。何より商工会の皆様「おもてなし県」としての心意気があります。訪日客は「ゆっくりしてってけれ」の一言で、どんなにか心がほぐれることでしょうか。この秋田のおもてなし県を、上記のようにずばり交流サイト(SNS)を通じて口コミを活用しましょう。実は、中国人に大人気の動画があるのです。「お助け! ? もんちゃんZ」という動画です。青森の大学で学んだ「モンちゃん」こと金夢さんが大好きな青森について体験レポートを通じて青森を紹介したことへの反響が多かったとのこと。

秋田県には留学生の多い大学もあり、皆様のお店にも来られる方が多いと思います。いろいろな方と交流を図るなかで、SNSに載せてもらう。この行動自体も「おもてなし」の始まり。秋田は「おもてなし県」であることをアピールしていくことで、「おもてなし」への興味を留学生や外国の方は持つのです。商工会としての取り組みや皆様一人一人の商売への熱い想い、四季折々の農作物、自然への畏敬の念、地域の交流・竿灯祭りなどのイベントそして日常の毎日の中で起きる何気ない出来事等々、いわゆる「普通の生活」を送る喜びや楽しさを彼らに伝えることが、留学生の方が秋田への関心をさらに深くし、秋田の情報が交流サイトを通して拡散していくのです。SNSでの口コミ力は大きいのです。

立ち上がるまでは少々慎重な「秋田=おもてなし県」。でも立ち上がると行動的ですし、一致団結力でやりとげる皆様方の大きな力に期待します。やりませんか? いや今すぐやりましょう。

共済ご加入者 喜びの声

会員福祉共済

正面衝突に遭い2ヶ月休業! 手厚い補償に大感謝!



創業以来27年間、私一人で営業と現場の全てをこなし、日々奮闘してきましたが、一昨年の早朝、現場に向かう途中、脇見運転で対向車線にはみ出してきた車と正面衝突、救急搬送される災難に遭いました。幸い大事に至りませんでしたが、受注していた仕事が全てキャンセルとなり、約2ヶ月間休業しました。

そんなとき、商工会から**低廉な掛金で充実した補償**が受けられると勧められて加入した「会員福祉共済」のおかげで、収入が全くない休業期間中、本当に助かりました。また**面倒な手続きや審査もなくスムーズ**に共済金を受け取ることができました。**すぐに対応してくれた商工会**に感謝しています。

[大仙市商工会] 和田工業(水道工事業) 代表 和田 健一様

商工会貯蓄共済3つの特徴

貯蓄

自己資金の充実

保障

万が一の時も安心

融資

企業の資金繰り

消費税への準備!! 応援します!

国が準備したセーフティネット **安心の材料をご提供します。**

経営セーフティ共済 取引先の突然の倒産!まさかのときの資金調達は準備していますか?
「取引先の倒産」と「商取引の事実」の確認で迅速に貸付実行。
倒産となったお客様(従業員)様への資金を保護できます。(掛金8,000円/月)
当面の資金繰りに役立ち、自社と社員を守れます。

小規模企業共済制度 経営者ご自身の「現役引退後の生活資金」のことをお考えですか?
将来、「廃業」「役員退任」等が生じたときに共済金を受け取れます。
現役引退後の安心した生活設計が図れます。
※共済制度の詳細情報は、「パンフレット」等を必ずご確認ください。

掛金は
現金もしくは
必要経費に
納入できます

掛金は
全額所得
控除

お問い合わせ先: 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 TEL: 050-5541-7171 (受付時間) URL: <http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html>

県内商工会の活動

県内商工会の事業者に行った指導・支援内容とその成果をご紹介します。

Case Number 07 三種町商工会

薄毛療法で販路開拓 [事業所名 美容室alfa] パッケージ開発と販促ツール作成支援



代表の近藤羽衣子さんと富樫経営指導員

指導内容 薄毛療法を取り扱う美容室として琴丘と秋田市の2店舗を経営。低価格サロンの台頭や来店頻度の落ち込みにより、顧客が減少するなか、他店との差別化を図り集中的に新たな顧客の獲得を目指し、持続化補助金を活用したオリジナルシャンプー・トリートメントのパッケージ開発、HP・チラシ作成の支援を行いました。また、専門家を活用して統一感のあるデザインで情報発信するなど、支援内容を連動させることで確実な効果が生まれるよう支援を行いました。



新たに作成したホームページ <http://alfa-clover.net/>

成果 新商品パッケージの無償提供や販促ツールを活用したことで、顧客から「シャンプーの効果はどのくらいで表れますか」、「ホームページを見ました」などの反響があり、来店客数を前年同月比5%増加に繋げることができました。

感想 持続化補助金のお話が無かったら、顧客獲得に向けた取り組みを先延ばしにしていたと思います。また、より効果が生まれるように専門家をご紹介いただき、パッケージ開発とHP・チラシ作成がスムーズに進んで、本当に助かりました。



新たに開発したシャンプー & トリートメント

Case Number 08 にかほ市商工会

新たな顧客層を呼び込む店舗づくり

[事業所名 有限会社 菅原呉服店]

指導内容 事業承継をきっかけに、「若い世代にも気軽に立ち寄ってもらえるお店」を目指し、持続化補助金を活用して床材を張り替え、休憩所やイベントスペースを設けられるよう商品陳列を兼ねた間仕切棚を設置しました。同時に商工会の専門家派遣事業を利用し、店舗設計の助言を受けながら大幅な店舗リニューアルと若い世代向けの商品周知のチラシも作成しました。

成果 店舗改装や商品レイアウトの変更、チラシ折り込みによりターゲット世代の来店が2.5倍に増えました。また、イベントスペースで成人式向け親子の着付け教室や、取り扱っている雑貨を使用したお茶会などを開催したところ、顧客ニーズの把握ができ、関連商品の売上に繋がりました。



新たな顧客に人気の商品



リニューアル後の店内の様子



代表取締役 菅原練悦さんと奥さま

感想 経営指導員と専門家の方には、事業計画や店舗のレイアウトなどの確かなアドバイスをいただき、事業承継後の目標であった「若い世代の方にも気軽に楽しめるお店」への一歩を踏み出せた事に大変感謝しております。

Case Number 09 羽後町商工会

愛車のサポートはお任せ、お客様と共に前進します

[事業所名 有限会社 オートカンパニー]



代表取締役 大野浩志さん

指導内容 平成13年に自動車販売の専門店として創業。数年前から販売に加え軽微な钣金塗装や修理も受注する一方、販売に依存した経営に不安を感じていたことから、自社整備工場の建設を計画。建設に向けた支援の第一歩として、持続化補助金を活用して不足していた自動車整備のための機材を購入、続いて工場建設資金調達のための経営計画書の作成について支援いたしました。



新店舗完成予想模型

成果 持続化補助金を活用して購入した機械により作業効率の改善が図られました。また社長の長年の夢でもあった、新店舗・新工場の建設が実現し今年4月には完成する予定となっています。

感想 昨年開催された「経営計画作成セミナー」の受講から継続した支援を受け、持続化補助金の採択、新店舗・新工場の建設に至るまで順調に進み感謝しています。

新たに県内21商工会の会員となられた皆様を紹介します。

三種町商工会

(株)環境のYOSHIDA / 代表取締役 吉田 正人

〒018-2401 三種町鶴川字東鶴の巣62
 ■TEL: 0185-74-5910 ■TEL: 0185-74-5927
 ■HP: <http://www.rakuten.co.jp/kankyoy-y/>

商工会との関わり

地元で環境事業を成功させるため平成26年4月に開業。経営に関する様々なアドバイスを求めて商工会へ加入し、持続化補助金の活用を支援していただきました。これからも支援を受けながら町のイメージアップに努めていきます。

新会員から一言

清掃関連商品の販売と清掃業務を行っております。今年には新商品として、水の酸素濃度を6.5倍にするファインバブル発生装置「泡次郎」(右上の写真)を販売します。バブル化した水で農産物の発育を高め水産物の鮮度を長く保つなど、農業・漁業に革命を起こします!



イチオシの商品

環境を破壊せず自然に還元される植物性洗剤「SAFE CAREシリーズ」の「SC-1000」は希釈タイプで、軽い汚れから頑固な汚れまで大活躍!米軍も使用する本商品はHPで販売中です。是非ご使用下さい。1,944円(10)



イチオシ

にかほ市商工会



株式会社 幸栄丸 / 代表取締役 山本 四寿也

〒018-0403 にかほ市三森字六日市120
 ■TEL: 0184-37-2749 ■FAX: 0184-74-6280
 ■Mail: kabukoueimaru@koeimaru.co.jp

商工会との関わり

平成24年8月に会社を創立し、菌床椎茸栽培を行っておりますが、自社だけでの販路開拓には限界を感じております。商工会からの情報等の提供・事業支援に期待しております。

新会員から一言

平成26年9月から食品加工販売も行っています。完全無農薬栽培、施設内の衛生管理に拘り、安心・安全な菌床椎茸をベースに地元の食材を使った加工品を提供しています。平成27年6月に秋田県版HACCPを認証取得し、お客様が安心しておいしく食べられる商品づくりを第一に考え、委託加工も行っております。

イチオシ



イチオシの商品

自社栽培の椎茸をベースに県内の山菜を使った佃煮・炒め煮、ご飯のおかず、お酒のおつまみに最適な逸品です。



秋田県にかほ市産の生しいたけです。肉厚でジューシーなぷりっぴりの食感をぜひ味わってください!

羽後町商工会

株式会社 おも・しえ / 代表取締役 小坂 圭助

〒012-1131 羽後町西馬音内字中野200
 ■TEL: 0183-62-2111 (内線611) 平成28年4月から新番号

商工会との関わり

町商工会(東海林会長)を座長に、道の駅を目指す羽後町総合交流拠点施設「端縫(はぬ)いの郷」運営に関する諮問を戴きながら、今夏7月のオープンを待つまでに至りました。施設は完成しても「魂」を入れなければいけません。素人集団へのアドバイスを宜しくお願いします。

新会員から一言

『近き者説(よろこび、遠き者来たる)』をモットーに、羽後町の食と文化と産業、併せて羽後町ならではの隠れた素材をブラッシュアップしながら、おも・しえく(楽しく)ご案内できる「道の駅」を目指します。羽後の特産(西馬音内そば、羽後牛、スイカ etc)をご用意皆様のお出でをお待ちしております。



「端縫(はぬ)いの郷」イメージロゴ

おすすめスポット

今夏7月オープン



「端縫(はぬ)いの郷」完成予想図

「地域資源の発掘・生産者と連携した商品開発で ブランド価値を創出します!!」

～生涯のイベントに関与できる商品づくり(さくらアイスのブランド化)を目指して～



No. 107



(有)佐々木商事

代表取締役 佐々木 雅 洋



当社の概要

当社は前経営者の後を継ぐ形で平成10年7月にガソリンスタンドを創業しました。

創業当初から喫茶営業の許可を取得しており、ゲストルームを活用した飲食の場を検討しながらお客様に提供する食材は何か良いかを妻と考案した結果、『アイス』の提供という結論に至り現在営業しております。

また、当社の向かいには200種(2000本)の桜の園がある日本国花苑であることから同年、八重桜の花びらを練り込んださくらアイス『花びら味』と、葉を練り込んだ『葉っぱ味』の2種類のフレーバーが楽しめるアイスの販売を開始しました。

現在では「さくらアイス」以外にもイチゴや大潟村産メロン(夏期限定)

を使用したアイスも販売しており、平成17年からは燃料販売や灯油販売など住宅設備関連の事業にも参入しています。

季節商品から通年商品のイメージへ

当社は「油も売っているアイス屋さん」として地元から認知され、毎年受験シーズンの時期には、地元中学生を対象に合格祈願をかけて「サクサク」をイメージした合格味の『さくらアイス』を無償提供しております。

また、平成26年度には小規模事業者持続化補助金を活用し、看板の設置や冷凍ショーケースの導入、パッケージデザイン等の変更を行い、ネーミングを「さくらアイス」から地元を意識した「いかわさくらアイス」へと変更しました。

経営課題の解決に向けて

当社の課題としては少子高齢化による人口減、エコカーやハイブリッドカーの台頭による低燃費車の増加、エコドライブによる燃費改善、省エネ、創エネ機器の成長による燃料油の需要減少が想定されます。

このことから、課題を解決して次のステージへとステップアップする為にも自分の思いを商工会へ相談し、専門指導員を交えながら何度もヒアリングを重ねました。結果、経営革新による身の丈にあった新たな儲かるしくみづくりの醸成と、地域との連携を更に強化していくことが必要との結論に至りました。

経営革新計画の策定、そして認定へ

計画の策定にあたっては専門指導員や湖東3町商工会の経営指導員と検討を重ね「井川町の観光資源活用型SSへの転進」として「地域資源を活用した商品開発・事業化」及び「SS併設型カフェテリアの立上げ」

に取り組むことにしました。具体的には20年前から取り組んできた「さくらアイス」のブランド化を図るとともに、五城目町等近隣地区の地域資源(果物等)を原料とした商品開発と事業化、SSに隣接する土地を有効活用した、飲食スペースの設置、また、各種のイベント要請に対応するための移動販売車両の導入を予定しております。

この内容にて、平成27年12月に経営革新計画として認定を受けることができました。

今後の展望

弊社のSS名は「井川さくらステーション」です。

日本国花苑を中心に「さくら」を屋号に使用する事業所、病院、施設等も多い中、本事業の推進を通じて「さくら」を基軸とした共通の商品マークの開発など、今後は地域一体となって取り組む地域団体商標といった「ブランド創出活動」の足掛かりを築いていきたいと思っております。



from IKAWA

有限会社 佐々木商事
(井川さくらSS)

本社 〒018-1515
秋田県南秋田郡井川町小竹花字関合3-7

TEL 018-855-6170

FAX 018-855-6171

営業時間 月～土 7:00～19:00
日・祝 7:30～18:00

定休日 年中無休



※この紙は再生紙を使用しています。